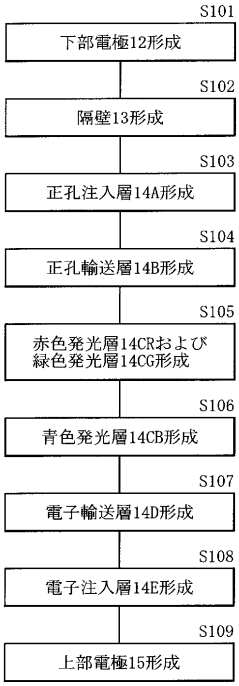
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成26年4月17日(2014.4.17)

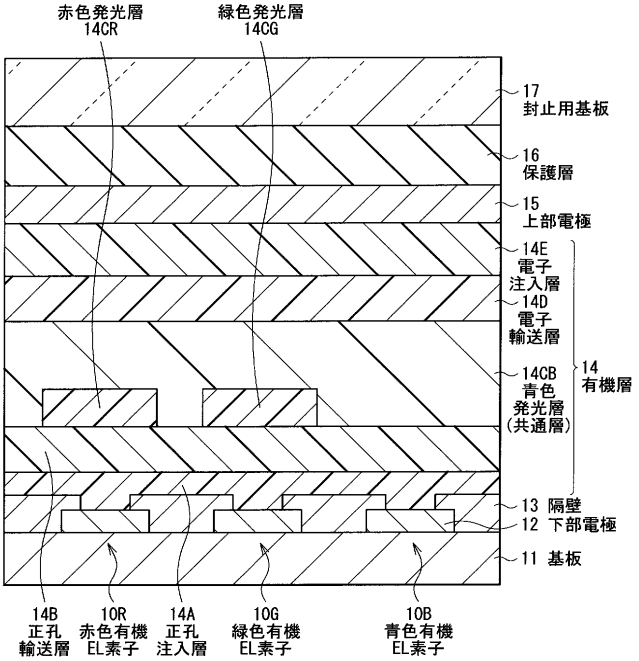
【公開番号】特開2012-212726(P2012-212726A)
【公開日】平成24年11月1日(2012.11.1)
【年通号数】公開・登録公報2012-045
【出願番号】特願2011-76515(P2011-76515)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　33/10　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　11/06　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ　11/02　(2014.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ｂ
Ｈ０５Ｂ　33/10
Ｃ０９Ｋ　11/06　６９０
Ｃ０９Ｄ　11/02

【手続補正書】
【提出日】平成26年3月4日(2014.3.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０８】
以上、実施の形態および実施例を挙げて本技術を説明したが、本技術は上記実施の形態等に限定されるものではなく、種々変形が可能である。例えば、上記実施の形態等では、反転印刷用インキ組成物２２を用いて赤色発光層１４ＣＲまたは緑色発光層１４ＣＧを形成する例を示したが、赤色発光層１４ＣＲおよび緑色発光層１４ＣＧ以外の発光層、あるいは正孔注入層１４Ａや正孔輸送層１４Ｂ等の他の有機層１４をパターニングして形成するようにしてもよい。特に、正孔注入層１４Ａをパターニングして形成すれば、リーク電流を抑えることができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】全図
【補正方法】変更
【補正の内容】

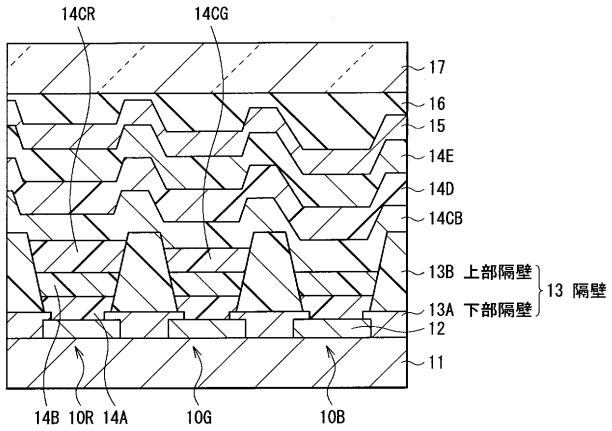
【図１】


S101
下部電極12形成
S102
隔壁13形成
S103
正孔注入層14A形成
S104
正孔輸送層14B形成
S105
赤色発光層14CRおよび
緑色発光層14CG形成
S106
青色発光層14CB形成
S107
電子輸送層14D形成
S108
電子注入層14E形成
S109
上部電極15形成

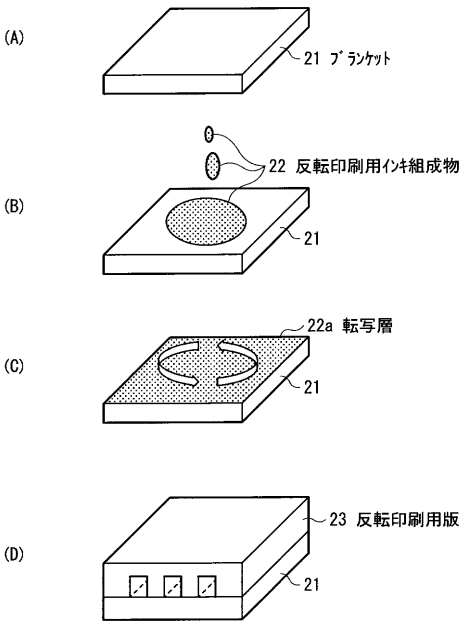
【図２】


赤色発光層
14CR
緑色発光層
14CG
17
封止用基板
16
保護層
15
上部電極
14E
電子
注入層
14D
電子
輸送層
14CB
青色
発光層
(共通層)
14
有機層
13 隔壁
12 下部電極
11 基板
14B
正孔
輸送層
10R
赤色有機
EL素子
14A
正孔
注入層
10G
緑色有機
EL素子
10B
青色有機
EL素子

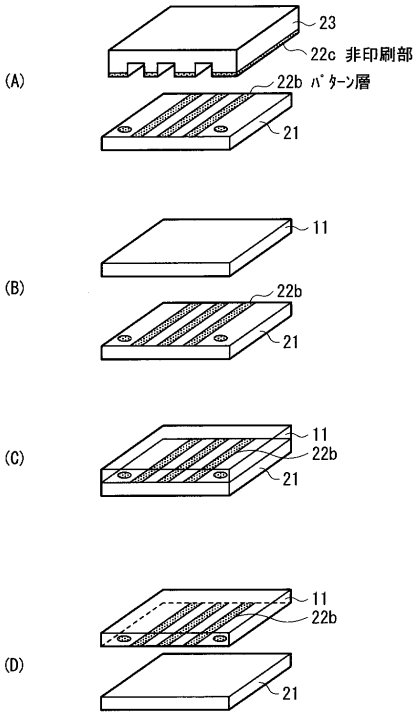
【図３】


14CR
14CG
17
16
15
14E
14D
14CB
13B 上部隔壁
13A 下部隔壁
13 隔壁
12
11
14B
10R
14A
10G
10B

【図４】


(A)
21 ﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ
(B)
22 反転印刷用ｲﾝｷ組成物
21
(C)
22a 転写層
21
(D)
23 反転印刷用版
21

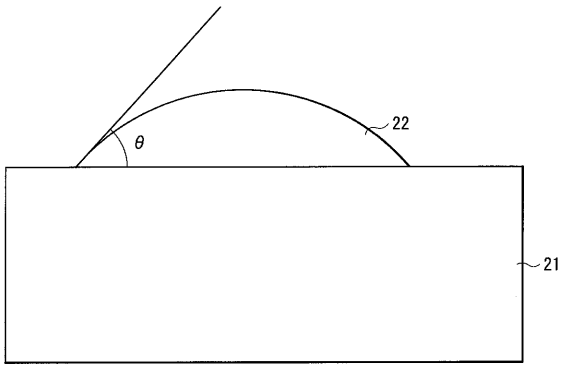
【図５】



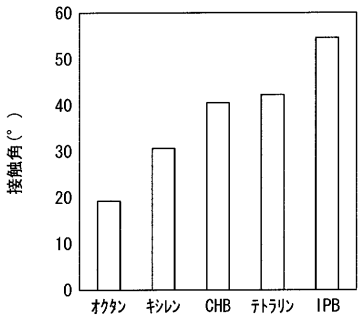
【図６】

溶媒	沸点(℃)
ｵｸﾀﾝ	125
ｷｼﾚﾝ	138～144
ﾒｼﾁﾚﾝ	165
ﾃﾄﾗﾘﾝ	206～208
CHB	236
IPB	291

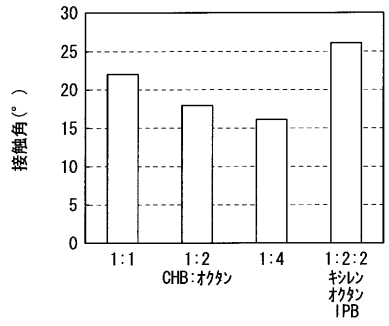
【図７】



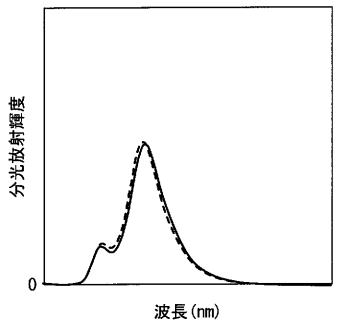
【図８】



【図９】



【図１０】



【図１１】

